

# その昔、大阪で一番早く 収穫できた果樹は何？



## 府職の友 本庁ニュース

発行  
大阪府職労  
内線3746

ここで突然質問です。大阪の露地栽培の果樹で一番早く収穫期を迎える果樹は何ですか？

答えは「びわ」。「うめ」「いちじく」と答えた方いらっしやいますか？おまけの正解です。

### ■びわ

大阪の「びわ」産地は箕面市止々呂美。6月下旬から収穫を迎えます。びわは元々温暖な気候を好む常緑樹で、止々呂美地区は経済栽培の北限とも言われ、栽培には苦労があります。



冬季(12月～2月頃)に順番に花が咲き、冬の寒さを乗り切った果実の中から良いものだけを「摘果」で選び「袋掛け」を行い商品価値の高いものにします。「止々呂美のびわ」の人氣は高く、いまや手に入れ

るのが難しい「幻のくだもの」になっていきます。

### ■うめ

「うめ」をおまけの正解にしたのは、6月上中旬に収穫しますが「くだもの」かな？ということですよ。

大阪で「うめ」産地を尋ねると「和歌山の南高梅や！」と言われます。でも府内でも泉南中金熊寺(きんゆうじ)の「うめ」は有名です。

2月～3月の観梅(花見)が人気ですが「南高梅より実が大きくて種が小さい」とも言われ良

質の果実ですが、これも入手はなかなか難しくなっています。

### ■いちじく

「いちじく」もおまけの正解です。「くだもの」ですが「樹」ではないのが理由です。旬が12月のクリスマスススと思っている人も多くいるのでは？

栽培技術や品種の飛躍的な進化で長期間収穫できる「くだもの」となりました。でも、元々は露地で5～6



月頃が旬の「くだもの」で、昭和のいちじく狩りは露地でした。それが、いまや「いちじく狩り」はハウス内でも雨でも出来ます。しかも「高設栽培」で立ったまま。いちじく狩りの様子は様変わり。大阪でもはちご栽培



培に取り組む農家が増えていきます。

■世界中から「くだもの」が手に入る時代になりましたが、やはり地元の新鮮な「くだもの」を大切にしたいものです。「美味しいくだもの」の相談は総務農林支部まで、家庭果樹の栽培相談もどうぞ。

### ○農民連大阪産直センターの「季節のお取り寄せ」

興味のある方は府職労総務農林支部の役員まで  
●トマト(大阪産・品種は桃太郎系)／箱入り大 料金  
○「武蔵野」～江戸の循環農業が息づく、上映のお知らせ

循環農業の妙に、四季の美しさに引き込まれ、家族の笑顔に和む・・・東京で失われたかつての光景が今も続く、「日本農業遺産」認定の地、北武蔵野の落ち葉堆肥農法とそこに生きる人々のドキユメンタリー映画。6月15日(土)～21日(金)まで第七藝術劇場にて上映。  
<http://www.cinema-musashino.com/>

### 水曜日は

### 1-1 職業-

自分の健康と家族のために  
定時に帰りましたよ!